

「旧野外活動センターの活用を考える」連続ワークショップ

2/27±

「地域の新しい拠点として工房の可能性」を考える

10年間眠っていた逗子市の空き施設である野外活動センターの再生を考える企画です



## くるみの豆皿づくり

いくつあっても嬉しい豆皿。小さなお菓子をのせたり、砂糖を添えたり、スプーン置きにも。くるみの無垢材を、彫刻刀やノミや鉋（カンナ）でサクサク削って作ります。

時間：11:00～14:45（12:30～13:15はお昼休憩）  
定員：12名（午前の部と午後の部を通して完成）  
対象年齢：小学3年生以上  
持ち物：エプロン、軍手、上履き  
参加費：1000円



## こども粘土造形

午前：色とりどりの輝く海の世界を作ろう  
午後：自然素材を使っての鳥の巣を作ろう

貝殻や枝葉など身近な自然素材を取り入れて粘土や絵具などをを使って海の世界と鳥の巣を自由に表現しましょう！

時間：午前11:00～12:30、午後13:15～14:45  
定員：午前午後それぞれ8名（対象年齢4歳～）  
持ち物：エプロン、作品が持ち替えられる大きめの袋  
海の世界…海で拾った貝殻  
鳥の巣…盧花公園で拾った枝葉、木の実  
参加費：1000円



## キーカバーづくり

鍵に取り付けるキーカバーを2個つくるワークショップ。ひとつは自分用に、もうひとつは大切な方へ。アナログ式とデジタル式の2種類を作ります。

時間：13:15～14:45  
定員：8名（対象年齢小学生以上）  
持ち物：エプロン  
参加費：1000円

特別講演 15:00～16:30

「ものづくりの未来の姿と地域拠点としての工房の可能性」

ファブラボジャパン 田中浩也氏 参加無料



主催：関東学院大学  
協力：逗子文化の会、逗子クリエイターズ  
申込サイト（事前申込制）  
<https://goo.gl/9zp6Gh>  
連絡先(加藤) 080-3750-8122

